



椎の木

令和8年度8・9月号

朝霞市立朝霞第八小学校

児童数 1,081名

〒351-0012 朝霞市栄町5-1-4 1

TEL:048-465-8381

校長 岩崎 英雄

【目指す学校像】豊かな心で児童に未来を生き抜く力を育てる学校

カーボベルデって!?

いよいよ2学期がスタートしました。子供たちは44日間の夏季休業期間で、この休みにしかできない体験や経験をし、一回りも二回りも成長したことと思います。特に5年生は、夏休み中の林間学校において、カレーづくりやハイキング、キャンプファイヤー等の体験を通して、一人一人の成長とともに、学級や学年の絆も深めることができました。準備や健康管理も含め、ご協力ありがとうございました。



流れ星も出た2年生の素敵な合唱



全教員が参加した朝霞市避難所開設訓練

ちょうど1年前の学校だより「災害から身を守るために」のタイトルで、昨年の夏休み中に発生した地震や豪雨、雷による多数の被害やカムチャツカ半島沖を震源とする大地震での日本での津波警報の発令などに触れ、「防災リテラシー」や「防災の日」などの、災害に対する意識を高める重要性を書きました。しかし、今年も夏休み中である7月28日に熊本県で震度7の地震、8月13日は

千葉県で記録的な豪雨が発生し、多くの命が奪われ、現在も大勢の方が大変な思いをされています。ご冥福をお祈りするとともに、朝霞市や全国各地で豪雨災害が続いています。あらためて、各ご家庭でも災害発生時の避難行動や避難場所、家族間の連絡の取り方など、再確認をしていただければと思います。

さて、随分前のように感じてしまいましたが、夏休みが始まったころ、サッカーワールドカップの決勝が行われ、スペインがアルゼンチンを破り、見事に2度目の優勝で幕を閉じました。日本代表もケガ人がいる中で、他国以上の「団結力」で最後まで粘り強く頑張りました。そのような中、多くの話題となったのが「カーボベルデ」でした。私は、サッカーが大好きなのですが、アフリカ予選を勝ち抜き、アフリカの代表国になるまで、この国のことを知りませんでした。あの活躍を見て「いったいどんな国なのだろう!？」と興味が湧きました。調べてみると、カーボベルデ共和国は西アフリカの沖合の大西洋に浮かぶ小さな島国で、面積は約4,033 km²、埼玉県(3,797 km²)より少しだけ大きい程度です。人口は約52万人で、埼玉県の人口(約730万人)の14分の1しかありません。ちなみにですが、朝霞市の近隣市(朝霞・和光・新座・志木)の人口の合計が約47万人なので、国として考えると本当に小さな国であることがわかります。意外にも日本との関係も深く、同じ「島国」としての共通点もあり、漁業や経済協力を軸に大変良好な友好関係を築いているそうです。おもしろいのは、「サイコー(最高)」が日本と同じ意味で、使われているそうです。1960年代、日本の遠洋マグロ漁船がカーボベルデを寄港地として立ち寄り、日本の船員から広まった言葉が今でも親しまれているようです。では、朝霞の近隣市程の人口しかいない小さな島国なのに、なぜ、ワールドカップであれだけの活躍ができたのか!?知りたくなりますよね!この知りたくなる気持ちが、学習の場面でも非常に大切です。子供たちがこれを読んで、もし『探究心』が湧いてきたら、いろいろな方法で調べみてほしいなと思っています。



6年生の着衣泳学習



「いじめ撲滅サミット」で市長の前で発表する2名の6年生